

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	03.岩手県
市区町村名	03206北上市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年目標値	本年実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
03206北上市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	学校と地域の連携・協働により、有意義な実践活動が実施されている一方で、新たな取組みによる学校と地域の負担感が増している。	CSポートフォリオの活用により、成果と課題を見える化することで、維持すべき活動や取り組むべき課題を整理し、学校と地域それぞれが負担なく、必要な活動や取組みを実施していく。 具体的には、昨年度CSポートフォリオを試験的に実施した2つの中学校区において、現状の取組みに係る分析結果を活用し、今後地域で維持していく活動と取り組むべき活動について整理を行う。	令和6年度にCSポートフォリオを実施した2つの中学校区は、年度内にその結果の活用までには至らなかった。そのため令和7年度も継続して伴走支援を行い、分析結果の可視化・活用を促していく。 CSポートフォリオをツールの1つとしながら、各学校区で熟議（対話）の機会へつなげていく。	学校と地域が連携・協働して行う地域学校協働活動を負担なく、かつ効果的で持続的な取組みとすることで、活動が充実し、子ども達の生きる力が育まれ、地域の教育力が向上する。	CSポートフォリオを活用しながら、対話や熟議を通じて課題解決に向けて取組みを進めている校区数	2	校区	4	4	4つの学校区の学校運営協議会において熟議（対話）を開催し、目指すべき目標と育みたい子どもの姿の共有を行った。なお、4つのうち1つの学校区においては、CSポートフォリオの分析結果を活用した熟議を実施した。 また、新たに1つの学校区でCSポートフォリオの活用による診断を行ったため、分析を進めながら次年度の熟議（対話）実施につなげていく。今後も熟議（対話）を通じて、目指すべき目標と育みたい子どもの姿の共有を各学校区で図りながら、取り組むべき活動について整理を行っていく。